

トピックス

2015年2月10日付の読売新聞「きらきらスポット」コーナーで、ギター担当の松井さんが紹介されました。

ギター活動で日々充実

松井 茂さん(70) (野洲市近江富士)
姉の影響で中学生の頃にギターを始めました。30歳頃から遠ざかっていましたが、退職した55歳から押し入れの奥のギターを取り出して音楽活動を始めました。人との関わりや友達も増え、県内外でのバンド活動や懐メロコーラスの伴奏のほかギターやウクレレを教えるなど忙しい毎日を送っています。ギターの魅力はジャンルを問わず自由にどんな曲でも演奏出来るところ。家での練習は欠かせません。昔好きだったムード歌謡を演奏してみたいですね。機材運びなど年齢とともに準備が大変ですが、80歳まで続けたいと思っています。

